

KAKEHASHI プロジェクト参加者歓迎レセプションの開催 (2014年3月20日)

3月20日、日本から当地を訪れたKAKEHASHIプロジェクトの参加者400名（高校15校、大学1校）の歓迎レセプションを、ショアライン・コミュニティ・カレッジ（SCC）において、開催しました。



総領事挨拶



キャンベル暫定学長挨拶

冒頭、大村総領事から、KAKEHASHI プロジェクト参加者に対し、グローバルな視野を培い、次世代の日米関係の「KAKEHASHI」となれることへの期待を述べました。続いて、キャンベル SCC 暫定学長より、本プロジェクトの国際交流、友好促進、強力かつ結束したグローバルコミュニティの構築に果たす役割について述べられました。

その後、元国費留学生及び元 JET プログラム参加者である SCC 卒業生より、日本での経験について発表がなされ、本プロジェクト参加校を代表して、呉工業高等専門学校（広島）による日本の現世に残る古代技術についての発表及び郷人（福島）によるよさこいが披露されました。



呉工業高等専門学校による発表



郷人によるよさこい

The KAKEHASHI Project –The Bridge for Tomorrow- は、日米の高校生・大学生の人物交流を通じて、国際理解の増進、相互理解の深化、グローバル人材の育成等を推進する外務省のプロジェクトです。事業詳細については、実施団体である国際交流基金のHPをご覧ください。

<http://www.jpf.go.jp/j/intel/youth/index.html>

